

## 海外安全対策情報（令和2年度第3四半期）

### 1 社会・治安情勢

ボツワナ政府は、9月28日、非常事態の延長の是非を問う臨時国会を開催し、当初10月2日までとされていた非常事態がさらに6か月間延長された（令和3年4月2日まで）。9月は一日平均感染者が50名程度であったが、9月末から10月はじめにかけての連休後にCOVID-19感染者数が大幅に増加し、10月以降の一日平均感染者は120名程度となった。他方、ボツワナ政府は11月9日から12月1日にかけて、14の国境地点において、段階的に国際移動制限を緩和した。それまでは国外への移動は月に1、2度の臨時便に頼っていたが、緩和により国際線定期商用便も復活し、国外への移動も容易になった。しかし、隣国南アフリカで変異株が確認され、さらに年末年始の人の移動や気の緩みなどから感染拡大することを恐れ、ボツワナ政府は、12月24日から明年1月3日までの午後7時から午前4時までの間を外出禁止とする決定をした。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 正確な統計、犯罪の傾向等は発表されていない。COVID-19の影響で人の外出が減り、犯罪件数自体は減っていると考えられる。しかし、今後、困窮した者達による犯罪の増加が懸念される。

#### (2) 邦人被害事案

邦人男性がハボロネ市内の中華食材店で買い物を終え、駐車していた車に乗り込んだところ、助手席側のドアを開けられ、金品を強奪される事案が起きた。

#### (3) 邦人以外の被害事案

外国人の被害は確認されていない。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件に相当する事案は確認されていない。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人、外国人の被害は確認されていない。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は引き続き良好で、大きな変化はなく、日本企業が犯罪の標的とされる可能性は低いと考えられる。